

# 愛媛の商業（確報）

～平成 26 年商業統計調査（確報）結果から～

この確報は、平成 26 年 7 月 1 日現在で実施した「平成 26 年商業統計調査」をもとに、愛媛県内の卸売業・小売業の事業所について、集計結果を確報として取りまとめたものです。

※本確報は、「経済産業省『平成 26 年商業統計確報』の調査票情報を、愛媛県が独自集計したものです。

（平成 28 年 4 月 22 日公表）

## 調査結果の概要

今回の調査結果の概要は、以下のとおりです。

### 卸売業・小売業合計

○事業所数	13,051事業所	[前回は979事業所減(△7.0%)]
○従業者数	88,768人	[前回は418人減(△0.5%)]
○年間商品販売額	3兆1,373億円	[前回は1,183億円増(3.9%)]

※前回は、平成24年2月1日現在で実施した経済センサス-活動調査(卸売業・小売業)をいう。以下、同じ。

## 1 事業所数

卸売業	3,063事業所	[前回は89事業所減(△2.8%)]
小売業	9,988事業所	[前回は890事業所減(△8.2%)]
合計	13,051事業所	

### (1) 産業別の状況

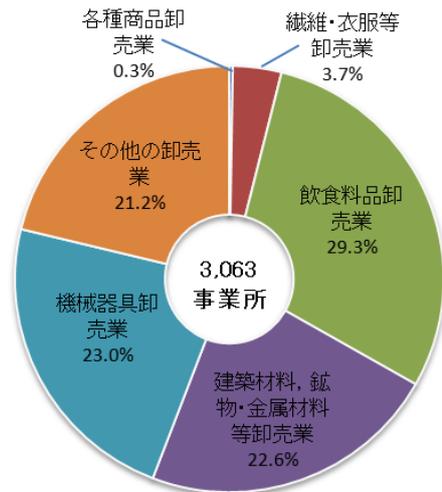
#### 卸売業

卸売業の産業別(中分類)の構成をみると、「飲食料品卸売業」が898事業所(構成比29.3%)と最も高く、次いで「機械器具卸売業」が704事業所(同23.0%)、「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」が691事業所(同22.6%)となっており、これら上位3産業で卸売業全体の4分の3を占めています。【表1、図1-1】

次に、産業別に前回と比べると、

- 増加した産業は、  
「飲食料品卸売業」のみでした。
- 減少した産業は、  
「各種商品卸売業」など5産業でした。

図1-1 卸売業 産業別事業所数構成比

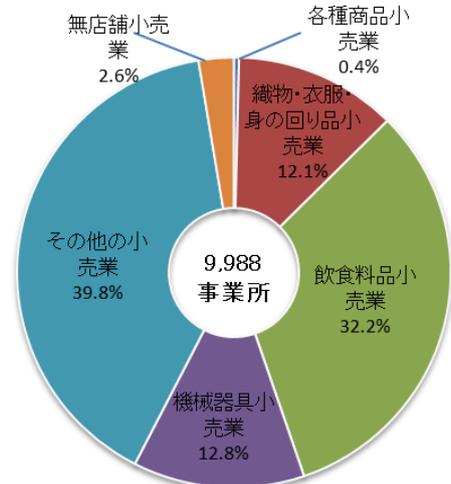


#### 小売業

小売業の産業別(中分類)の構成をみると、「その他の小売業」が3,978事業所(構成比39.8%)と最も高く、次いで「飲食料品小売業」が3,219事業所(同32.2%)となっており、これら上位2産業で全体の7割を占めています。【表1、図1-2】

次に、産業別に前回と比べると、全産業で減少しました。

図1-2 小売業 産業別事業所数構成比



【表 1】

## 卸売業・小売業の産業別事業所数

産業分類	事業所数				
	平成24年	構成比 (%)	平成26年	構成比 (%)	増減率 (%)
卸売業、小売業合計	14,030	-	13,051	-	△ 7.0
卸売業計	3,152	100.0	3,063	100.0	△ 2.8
50 各種商品卸売業	15	0.5	8	0.3	△ 46.7
51 繊維・衣服等卸売業	129	4.1	112	3.7	△ 13.2
52 飲食料品卸売業	884	28.0	898	29.3	1.6
53 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	757	24.0	691	22.6	△ 8.7
54 機械器具卸売業	713	22.6	704	23.0	△ 1.3
55 その他の卸売業	654	20.7	650	21.2	△ 0.6
小売業計	10,878	100.0	9,988	100.0	△ 8.2
56 各種商品小売業	61	0.6	38	0.4	△ 37.7
57 織物・衣服・身の回り品小売業	1,295	11.9	1,213	12.1	△ 6.3
58 飲食料品小売業	3,548	32.6	3,219	32.2	△ 9.3
59 機械器具小売業	1,493	13.7	1,278	12.8	△ 14.4
60 その他の小売業	4,139	38.0	3,978	39.8	△ 3.9
61 無店舗小売業	342	3.1	262	2.6	△ 23.4

## (2) 従業者規模別の事業所数の状況

## 卸 売 業

卸売業の従業者規模別（8階層）の構成をみると、「2人以下」が855事業所（構成比27.9%）と最も高く、次いで「5～9人」が838事業所（同27.4%）、「3～4人」が719事業所（同23.5%）となっており、これら9人以下の従業者規模が卸売業全体の8割弱を占めています。【図2-1】

次に、従業者規模別に前回と比べると、

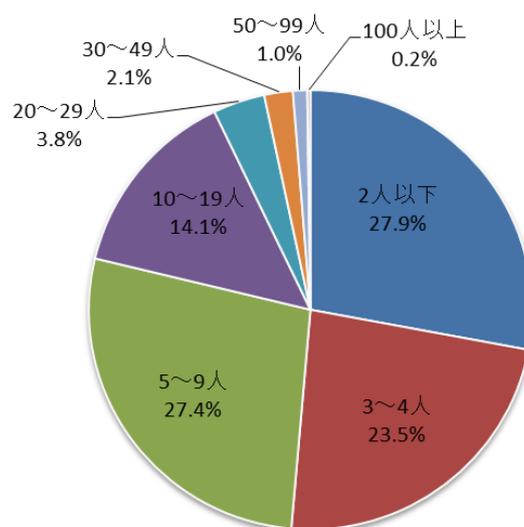
○増加した従業者規模は、

「3～4人」のみでした。

○減少した従業者規模は、

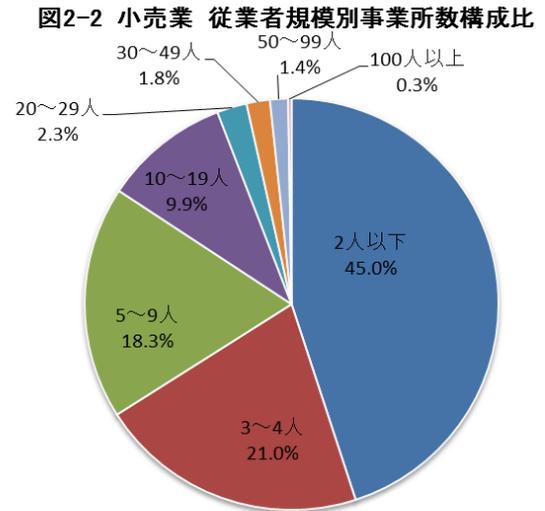
「100人以上」など7区分でした。

図2-1 卸売業 従業者規模別事業所数構成比



## 小 売 業

小売業の従業者規模別（8階層）の構成をみると、「2人以下」が4,495事業所（構成比45.0%）と最も高く、次いで「3～4人」が2,094事業所（同21.0%）、「5～9人」が1,832事業所（同18.3%）となっており、これら9人以下の従業者規模が小売業全体の8割強を占めています。【図2-2】



次に、従業者規模別に前回と比べると、

- 増加した区分は、  
「20～29人」など4区分でした。
- 減少した区分は、  
「100人以上」など3区分でした。

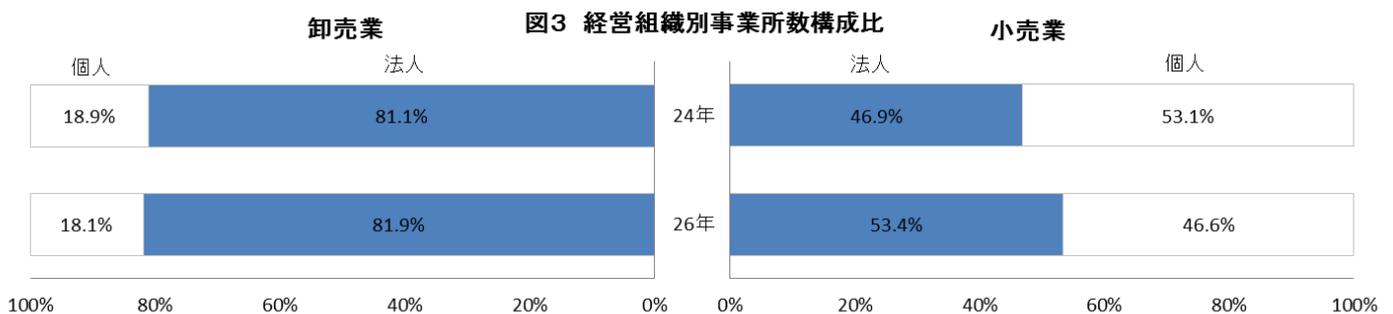
### （3）経営組織（法人・個人）別の状況

事業所数の法人・個人別の構成比をみると、卸売業は「法人事業所」が2,509事業所（構成比81.9%）、「個人事業所」が554事業所（同18.1%）となっております。

前回調査と比べると、構成比は法人が増加しています。

一方、小売業は「法人事業所」が5,336事業所（同53.4%）、「個人事業所」が4,652事業所（同46.6%）となっております。

前回調査と比べると、構成比は法人が増加しています。 【表2、図3】



### （4）単独事業所・本店・支店別の状況

事業所数を単独事業所・本店・支店別で構成をみると、卸売業は「単独事業所」が1,778事業所（構成比58.0%）と最も高く、次いで「支店」が1,037事業所（同33.9%）、「本店」が248事業所（同8.1%）の順となっております。

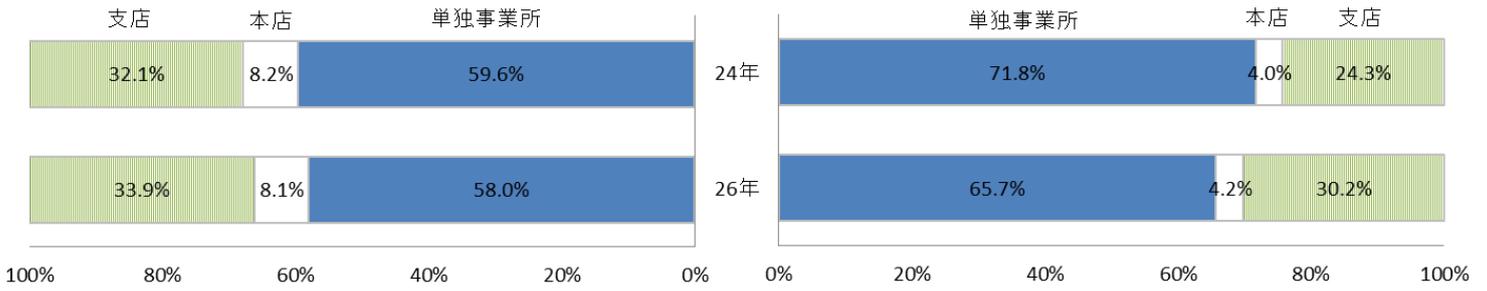
前回調査と比べると、構成比は単独事業所が減少する一方、支店が増加しています。

小売業においても「単独事業所」が6,558事業所（同65.7%）と最も高く、次いで「支店」が3,012事業所（同30.2%）、「本店」が418事業所（同4.2%）の順となっております。

前回調査と比べると、構成比は単独事業所が減少する一方、支店が増加しています。

【表2、図4】

卸売業 図4 単独事業所・本店・支店別事業所数構成比 小売業



【表2】 卸売業・小売業の単独事業所・本店・支店別の状況

年次	卸売・小売の別		合計 (増減率)	事業所数			
				単独事業所	本店	支店	
24年	計	合計	14,030	9,685	690	3,655	
		法人	7,652	3,424	628	3,600	
		個人	6,378	6,261	62	55	
	卸売業	合計	3,152	1,880	259	1,013	
		法人	2,555	1,291	254	1,010	
		個人	597	589	5	3	
小売業	合計	10,878	7,805	431	2,642		
	法人	5,097	2,133	374	2,590		
	個人	5,781	5,672	57	52		
26年	計	合計	13,051 (△ 7.0)	8,336 (△ 13.9)	666 (△ 3.5)	4,049 (10.8)	
		法人	7,845 (2.5)	3,244 (△ 5.3)	610 (△ 2.9)	3,991 (10.9)	
		個人	5,206 (△ 18.4)	5,092 (△ 18.7)	56 (△ 9.7)	58 (5.5)	
		卸売業	合計	3,063 (△ 2.8)	1,778 (△ 5.4)	248 (△ 4.2)	1,037 (2.4)
			法人	2,509 (△ 1.8)	1,232 (△ 4.6)	243 (△ 4.3)	1,034 (2.4)
			個人	554 (△ 7.2)	546 (△ 7.3)	5 (0.0)	3 (0.0)
	小売業	合計	9,988 (△ 8.2)	6,558 (△ 16.0)	418 (△ 3.0)	3,012 (14.0)	
		法人	5,336 (4.7)	2,012 (△ 5.7)	367 (△ 1.9)	2,957 (14.2)	
		個人	4,652 (△ 19.5)	4,546 (△ 19.9)	51 (△ 10.5)	55 (5.8)	

(注)「個人」には「法人でない団体」を含む。

## 2 従業者数

卸売業	23,502人	[前回比1,255人減(Δ5.1%)]
小売業	65,266人	[前回比837人増(1.3%)]
合計	88,768人	

### (1) 産業別の状況

#### 卸売業

卸売業の産業別（中分類）の構成をみると、「飲食料品卸売業」が7,567人（構成比32.2%）と最も高く、次いで「その他の卸売業」が5,540人（同23.6%）、「機械器具卸売業」が4,804人（同20.4%）となっており、これら上位3産業で卸売業全体の4分の3を占めています。【表3、図5-1】

次に、産業別に前回と比べると、

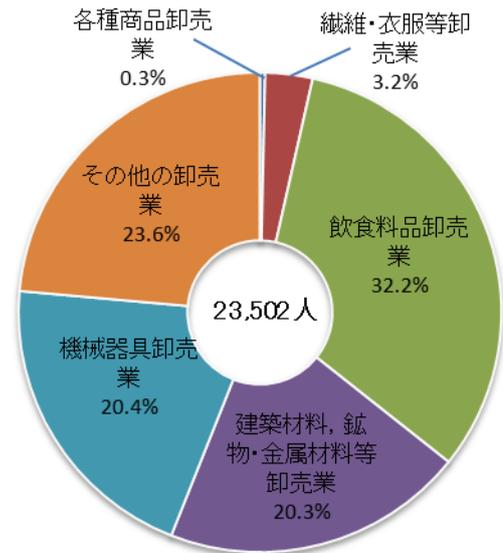
○増加した産業は、

「その他の卸売業」のみでした。

○減少した産業は、

「各種商品卸売業」など4産業でした。

図5-1 卸売業 産業別従業者数構成比



#### 小売業

小売業の産業別（中分類）の構成をみると、「飲食料品小売業」が25,725人（構成比39.4%）と最も高く、次いで「その他の小売業」が22,715人（同34.8%）、「機械器具小売業」が7,241人（同11.1%）となっており、これら上位3産業で、全体の8割強を占めています。【表3、図5-2】

次に、産業別に前回と比べると、

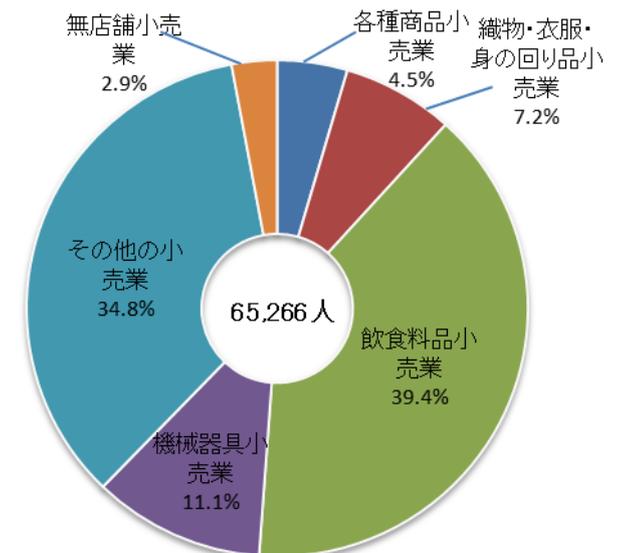
○増加した産業は、

「その他の小売業」など2産業でした。

○減少した産業は、

「各種商品小売業」など4産業でした。

図5-2 小売業 産業別従業者数構成比



【表 3】 卸売業・小売業の産業別従業者数

産業分類	従業者数(人)				
	平成24年	構成比 (%)	平成26年	構成比 (%)	増減率 (%)
卸売業、小売業合計	89,186	-	88,768	-	△ 0.5
卸売業計	24,757	100.0	23,502	100.0	△ 5.1
50 各種商品卸売業	143	0.6	82	0.3	△ 42.7
51 繊維・衣服等卸売業	744	3.0	744	3.2	0.0
52 飲食料品卸売業	7,932	32.0	7,567	32.2	△ 4.6
53 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	5,360	21.7	4,765	20.3	△ 11.1
54 機械器具卸売業	5,132	20.7	4,804	20.4	△ 6.4
55 その他の卸売業	5,446	22.0	5,540	23.6	1.7
小売業計	64,429	100.0	65,266	100.0	1.3
56 各種商品小売業	4,825	7.5	2,959	4.5	△ 38.7
57 織物・衣服・身の回り品小売業	5,199	8.1	4,709	7.2	△ 9.4
58 飲食料品小売業	24,113	37.4	25,725	39.4	6.7
59 機械器具小売業	7,380	11.5	7,241	11.1	△ 1.9
60 その他の小売業	20,768	32.2	22,715	34.8	9.4
61 無店舗小売業	2,144	3.3	1,917	2.9	△ 10.6

(2) 就業者数・従業者数の内訳

就業者数(92,179人)の内訳をみると、「パート・アルバイトなど」が38,020人で最も多く、次いで「正社員・正職員」が35,995人、「有給役員」が7,529人の順となっています。

前回調査と比べると、卸売業は全体的に減少しました。

小売業は常用雇用者数が増加した一方、臨時雇用者数等が減少しました。【図6、表4】

図6-1 卸売業 就業者数の内訳

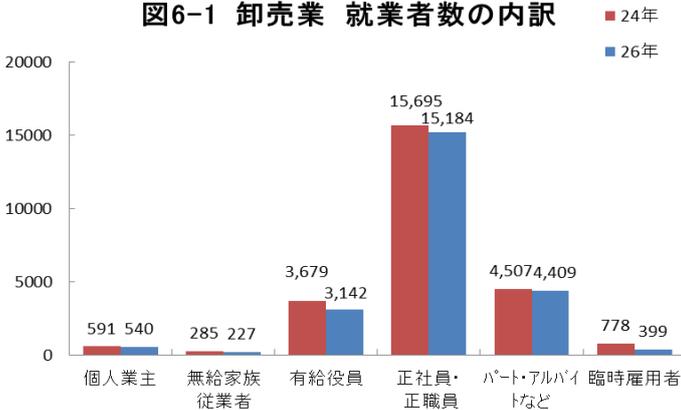
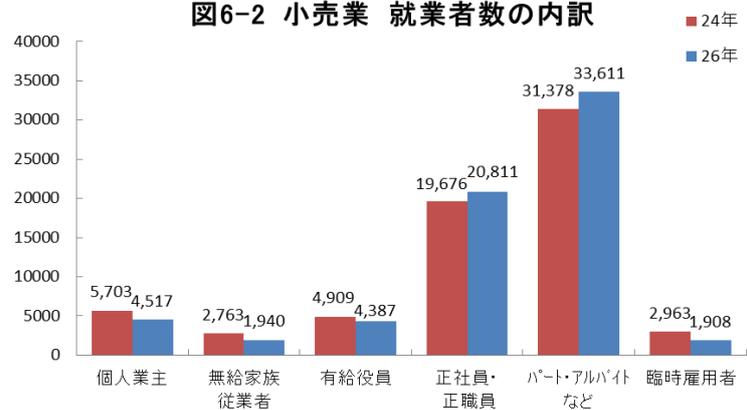


図6-2 小売業 就業者数の内訳



【表 4】 卸売業・小売業の就業者数・従業者数の内訳

年次	卸売業 小売業の別	就業者数	従業者数内訳								臨時雇用者数	従業員・臨時雇用者のうち他への派遣従業者数	他からの 出向・派遣 従業者数
			従業者数	常用雇用者数内訳						パート・アルバイト など			
				個人業主	無給家族 従業者	有給役員	常用 雇用者数	正社員・ 正職員					
24年	計	94,810	89,186	6,294	3,048	8,588	71,256	35,371	35,885	3,741	266	2,149	
	卸売業	25,892	24,757	591	285	3,679	20,202	15,695	4,507	778	141	498	
	小売業	68,918	64,429	5,703	2,763	4,909	51,054	19,676	31,378	2,963	125	1,651	
26年	計	92,179 (△ 2.8)	88,768 (△ 0.5)	5,057 (△ 19.7)	2,167 (△ 28.9)	7,529 (△ 12.3)	74,015 (3.9)	35,995 (1.8)	38,020 (5.9)	2,307 (△ 38.3)	183 (△ 31.2)	1,287 (△ 40.1)	
	卸売業	24,091 (△ 7.0)	23,502 (△ 5.1)	540 (△ 8.6)	227 (△ 20.4)	3,142 (△ 14.6)	19,593 (△ 3.0)	15,184 (△ 3.3)	4,409 (△ 2.2)	399 (△ 48.7)	72 (△ 48.9)	262 (△ 47.4)	
	小売業	68,088 (△ 1.2)	65,266 (1.3)	4,517 (△ 20.8)	1,940 (△ 29.8)	4,387 (△ 10.6)	54,422 (6.6)	20,811 (5.8)	33,611 (7.1)	1,908 (△ 35.6)	111 (△ 11.2)	1,025 (△ 37.9)	

(注) 従業者とは、「個人業主」、「無給家族従業者」、「有給役員」及び「常用雇用者」の計であり、「臨時雇用者」は含まれていない。

就業者とは、「従業者」に「臨時雇用者」及び「他からの出向・派遣従業者」を合わせ「従業員・臨時雇用者のうち他への派遣従業者」を除いたものである。

### 3 年間商品販売額

卸売業	1兆9,287億円	[前回比 608億円増(3.3%)]
小売業	1兆2,087億円	[前回比 575億円増(5.0%)]
合計	3兆1,373億円	

#### (1) 産業別の状況

##### 卸売業

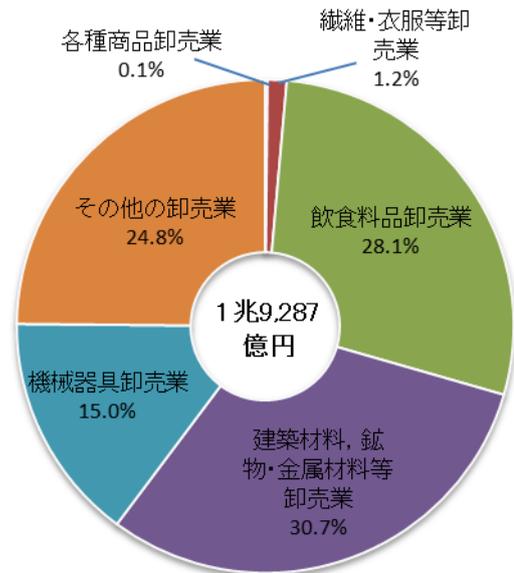
卸売業の産業別(中分類)の構成をみると、「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」が5,922億円(構成比30.7%)と最も高く、次いで「飲食料品卸売業」が5,417億円(同28.1%)、「その他の卸売業」が4,792億円(同24.8%)となっており、これら上位3産業で卸売業全体の8割強を占めています。

【表5、図7-1】

次に、産業別に前回と比べると、

- 増加した産業は、  
「繊維・衣服等卸売業」など4産業でした。
- 減少した産業は、  
「各種商品卸売業」など2産業でした。

図7-1 卸売業 産業別年間商品販売額構成比



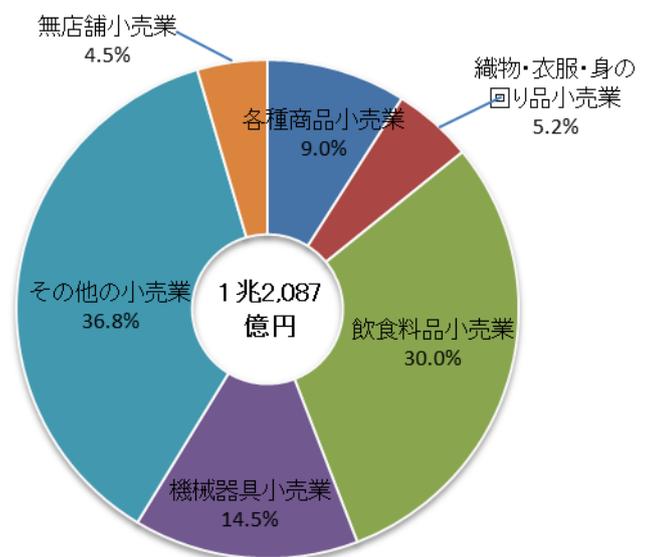
##### 小売業

小売業の産業別(中分類)の構成をみると、「その他の小売業」が4,450億円(構成比36.8%)と最も高く、次いで「飲食料品小売業」が3,631億円(同30.0%)、「機械器具小売業」が1,750億円(14.5%)となっており、これら上位3産業で全体の8割強を占めています。【表5、図7-2】

次に、産業別に前回と比べると、

- 増加した産業は、  
「飲食料品小売業」など3産業でした。
- 減少した産業は、  
「織物・衣服・身の回り品小売業」など3産業でした。

図7-2 小売業 産業別年間商品販売額構成比



【表5】

## 卸売業・小売業の産業別年間商品販売額

産業分類	年間商品販売額(百万円)				
	平成24年	構成比(%)	平成26年	構成比(%)	増減率(%)
卸売業、小売業合計	3,019,043	-	3,137,330	-	3.9
卸売業計	1,867,881	100.0	1,928,663	100.0	3.3
50 各種商品卸売業	5,641	0.3	2,817	0.1	△ 50.1
51 繊維・衣服等卸売業	18,979	1.0	24,026	1.2	26.6
52 飲食料品卸売業	529,035	28.3	541,721	28.1	2.4
53 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	569,260	30.5	592,193	30.7	4.0
54 機械器具卸売業	318,312	17.0	288,715	15.0	△ 9.3
55 その他の卸売業	426,653	22.8	479,191	24.8	12.3
小売業計	1,151,162	100.0	1,208,667	100.0	5.0
56 各種商品小売業	113,549	9.9	108,578	9.0	△ 4.4
57 織物・衣服・身の回り品小売業	94,515	8.2	62,382	5.2	△ 34.0
58 飲食料品小売業	298,793	26.0	363,068	30.0	21.5
59 機械器具小売業	177,185	15.4	175,043	14.5	△ 1.2
60 その他の小売業	417,904	36.3	445,018	36.8	6.5
61 無店舗小売業	49,216	4.3	54,577	4.5	10.9

(2) 従業者規模別の年間商品販売額の状況  
卸売業

卸売業の従業者規模別（8階層）の構成をみると、「10～19人」が5,489億円（構成比28.5%）と最も高く、次いで「5～9人」が3,335億円（同17.3%）、「20～29人」が2,502億円（13.0%）などとなっています。【図8-1】

次に、従業者規模別に前回と比べると、

○増加した区分は、

「10～19人」など4区分でした。

○減少した区分は、

「50～99人」など4区分でした。

## 小売業

小売業の従業者規模別（8階層）の構成をみると、「10～19人」が2,554億円（構成比21.1%）と最も高く、次いで「5～9人」が2,325億円（同19.2%）、「50～99人」が1,848億円（15.3%）などとなっています。【図8-2】

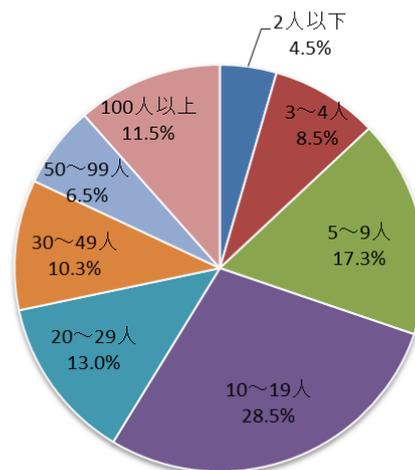
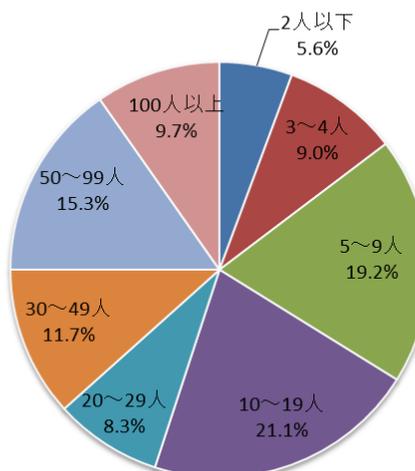
次に、従業者規模別に前回と比べると、

○増加した区分は、

「30～49人」など5区分でした。

○減少した区分は、

「100人以上」など3区分でした。

図8-1 卸売業 従業者規模別  
年間商品販売額構成比図8-2 小売業 従業者規模別  
年間商品販売額構成比

#### 4 売場面積（小売業）

小 売 業 1 8 6 万 6 , 5 9 8 m<sup>2</sup> [ 前 回 比 6 万 0 , 5 0 5 m<sup>2</sup> 増 ( 3 . 4 % ) ]

##### (1) 産業別の状況

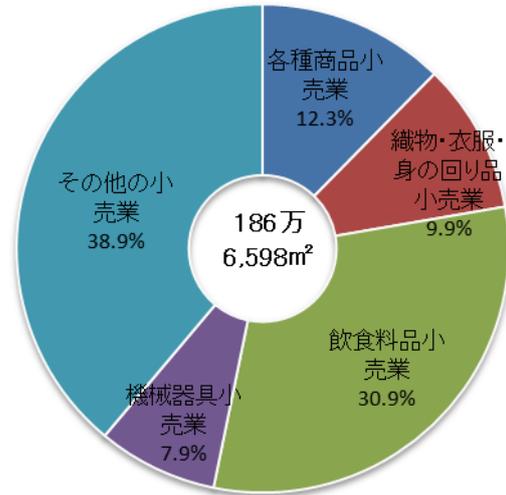
##### 小 売 業

産業別（中分類）の構成をみると、「その他の小売業」が726,303 m<sup>2</sup>（構成比38.9%）と最も高く、次いで、「飲食料品小売業」が577,620 m<sup>2</sup>（同30.9%）、「各種商品小売業」が229,867 m<sup>2</sup>（同12.3%）となっており、これら上位3産業で全体の8割強を占めています。【表6、図9】

次に、産業別に前回と比べると、

- 増加した産業は、  
「飲食料品小売業」など3産業でした。
- 減少した産業は、  
「各種商品小売業」など2産業でした。

図9 小売業 産業別売場面積構成比



【表6】

小売業の産業別売場面積

産業分類	売場面積(m <sup>2</sup> )				
	平成24年	構成比 (%)	平成26年	構成比 (%)	増減率 (%)
小売業計	1,806,093	100.0	1,866,598	100.0	3.4
56 各種商品小売業	292,565	16.2	229,867	12.3	△ 21.4
57 織物・衣服・身の回り品小売業	229,278	12.7	185,607	9.9	△ 19.0
58 飲食料品小売業	496,116	27.5	577,620	30.9	16.4
59 機械器具小売業	144,216	8.0	147,201	7.9	2.1
60 その他の小売業	643,918	35.7	726,303	38.9	12.8
61 無店舗小売業	-	-	-	-	-

(注) 牛乳小売業(宅配専門)、自動車(新車・中古)小売業、建具小売業、畳小売業、ガソリンスタンド及び新聞小売業(宅配専門)の事業所については、売場面積の調査を行っていない。

## 5 販売効率

### (1) 1事業所当たりの年間商品販売額

#### 卸売業

卸売業の1事業所当たりの年間商品販売額は6億2,966万円となりました。

産業別(中分類)にみると、「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」が8億5,701万円で最も高く、次いで「その他の卸売業」が7億3,722万円、「飲食料品卸売業」が6億325万円の順となっています。【表7、図10-1】

次に、産業別に前回と比べると、

○増加した産業は、

「繊維・衣服等卸売業」など4産業でした。

○減少した産業は、

「機械器具卸売業」など2産業でした。

#### 小売業

小売業の1事業所当たりの年間商品販売額は1億2,101万円となりました。

産業別(中分類)にみると、「各種商品小売業」が28億5,733万円で群を抜いて高く、次いで「無店舗小売業」が2億831万円、「機械器具小売業」が、1億3,697万円の順となっています。【表7、図10-2】

次に、産業別に前回と比べると、

○増加した産業は、

「各種商品小売業」など5産業でした。

○減少した産業は、

「織物・衣服・身の回り品小売業」のみでした。

図10-1 卸売業 産業別1事業所当たりの年間商品販売額

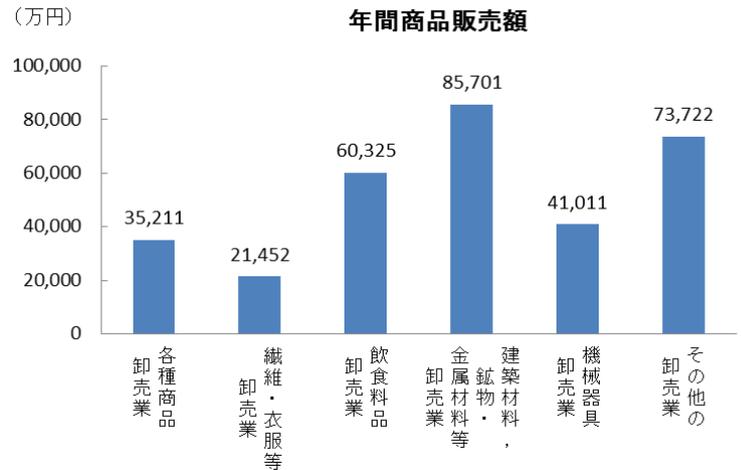
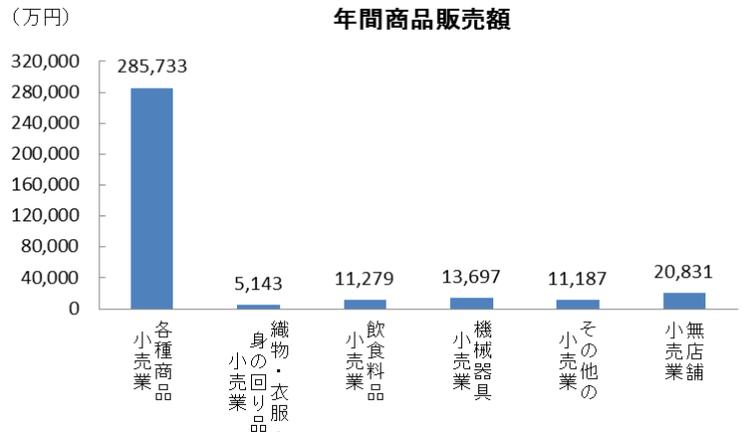


図10-2 小売業 産業別1事業所当たりの年間商品販売額



## (2) 従業者1人当たりの年間商品販売額

### 卸 売 業

卸売業の従業者1人当たりの年間商品販売額は8,206万円となりました。

産業別（中分類）にみると、「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」が1億2,428万円で最も高く、次いで「その他の卸売業」が8,650万円、「飲食料品卸売業」が7,159万円の順となっています。【図11-1】

次に、産業別に前回と比べると、

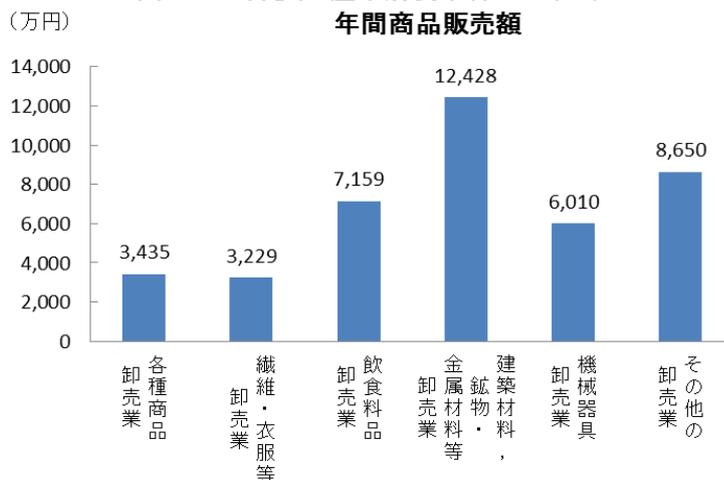
○増加した産業は、

「繊維・衣服等卸売業」など4産業でした。

○減少した産業は、

「各種商品卸売業」など2産業でした。

図11-1 卸売業 産業別従業者1人当たりの年間商品販売額



### 小 売 業

小売業の従業者1人当たりの年間商品販売額は1,852万円となりました。

産業別（中分類）にみると、「各種商品小売業」が3,669万円で最も高く、次いで「無店舗小売業」が2,847万円、「機械器具小売業」が2,417万円の順となっています。【図11-2】

次に、産業別に前回と比べると、

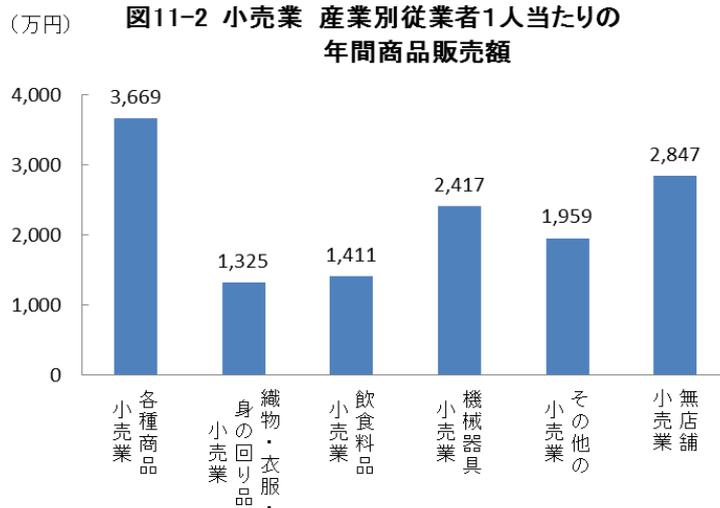
○増加した産業は、

「各種商品小売業」など4産業でした。

○減少した産業は、

「織物・衣服・身の回り品小売業」など2産業でした。

図11-2 小売業 産業別従業者1人当たりの年間商品販売額



【表 7】

## 卸売業・小売業の産業別販売効率

産業分類	1事業所当たりの 年間商品販売額 (万円)		従業者1人当たりの 年間商品販売額 (万円)	
	平成24年	平成26年	平成24年	平成26年
<b>卸売業、小売業合計</b>	<b>21,518</b>	<b>24,039</b>	<b>3,385</b>	<b>3,534</b>
<b>卸売業計</b>	<b>59,260</b>	<b>62,966</b>	<b>7,545</b>	<b>8,206</b>
50 各種商品卸売業	37,607	35,211	3,945	3,435
51 繊維・衣服等卸売業	14,713	21,452	2,551	3,229
52 飲食料品卸売業	59,846	60,325	6,670	7,159
53 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	75,199	85,701	10,621	12,428
54 機械器具卸売業	44,644	41,011	6,202	6,010
55 その他の卸売業	65,238	73,722	7,834	8,650
<b>小売業計</b>	<b>10,582</b>	<b>12,101</b>	<b>1,787</b>	<b>1,852</b>
56 各種商品小売業	186,146	285,733	2,353	3,669
57 織物・衣服・身の回り品小売業	7,298	5,143	1,818	1,325
58 飲食料品小売業	8,421	11,279	1,239	1,411
59 機械器具小売業	11,868	13,697	2,401	2,417
60 その他の小売業	10,097	11,187	2,012	1,959
61 無店舗小売業	14,391	20,831	2,296	2,847